

明治大学 2020 年度【春期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ユーコン大学オンラインプログラム
所 属	理工学部 機械工学科 3年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>今回のプログラムでは、身近なトピックやカナダの気象状況について、英語でディスカッションやクリティカルシンキングを効果的に行う方法を学んだ。具体的には、2~3 人の少人数グループで、提示されたトピックといくつかの質問について話し合った。初めの1 週間は咄嗟に単語やフレーズが出てこなく、自分の意見をそのまま伝えるということが難しかった。しかし、その日のうちに、授業で出てこなかったフレーズを調べて復習しておくことで、だんだんと意見をスムーズに伝えられるようになっていった。また、はじめは聞き取りづらかった英語も、毎日耳に入れることで相手の意見の要点を捉えられるようになっていった。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、授業時間以外の活動について、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
<p>授業以外では、カンパセーションクラブという現地の学生と交流するアクティビティに参加した。このアクティビティでは、特に事前に決められたトピックも提示されておらず、その場の流れで会話が進んでいった。そのため、授業とは違ってあまり頭で考えないで力をぬいて会話するという経験を得られた。実際に海外で生活するようになったら、このように、あまり考えないでその場の雰囲気会話することが多くなると思うので、何気ない英会話が自宅でもできたというのは貴重な経験であったと思う。また、ユーコンの生活や野生動物についてのリアルを知れて、面白かった。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
<p>研修費用が現地に行くよりも格段に安いので、あまりバイトをする時間がない学生でも工面しやすいのがメリットだと思う。また、たくさん話せるので英語の勉強をしているひとにとってはアウトプットできる良い機会になる。そのため、文法や単語の勉強を一通り終え、そろそろ実践に移りたいという方にはちょうど良いプログラムだと思う。そのほか、画面上だとボディランゲージなどの口頭以外で伝える手段が限られてくるので、対面よりも考えをきっちり言語化しようとする力が身につけやすかった。デメリットとしては、現地の文化や習慣を実際に体験することができないことが挙げられる。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
<p>私はここ2 年程英会話の練習を全くしておらず、英語の勉強といえばたまに文法問題を解いたり、洋画を字幕で観たりする程度だった。すると当然ながらプログラム開始から最初の1 週間は、いざ意見しようとする時咄嗟に単語やフレーズが出てこなく、とても焦った。しかしその日のうちに出てこなかったフレーズを調べて声に出すことで、次第にフレーズが出てくるようになった。今回のプログラムは英語の学習方法を見直す良いきっかけになったので、今後はただ文法問題を解くだけでなく、文章を音読する習慣も身に付けていきたい。そして、今回のプログラムで少し取り戻したスピーキングスキルをこれからも向上させていきたい。</p>	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。	